

Partial English Translation of JU 5-44896

(54) [Title of the Invention] Storage box

(57) [Abstract]

5 [Object] It provides a storage box which can safely and reliably receive delivered parcels and similar even in the absence of the owner, and which is of simple construction and inexpensive.

[Constitution] A storage box 1 is formed, comprising
10 a drawer 2 and a box main unit 5 having a housing portion 3 for housing the drawer 2 and a retention chamber 4 provided below the housing portion 3, such that the bottom plate 5 of the drawer 2 is open downward when the drawer 2 is closed, and when the
15 drawer 2 is opened the bottom plate 5 is in the closed state, supported by a guide placed on the front-face side of the housing portion, the box main unit 5 is provided with a removal aperture to remove parcels from the retention chamber 4 provided beneath
20 the drawer, and the removal aperture is provided so as to enable opening and closing only by specific persons.

(19)日本国特許庁 (JP)

(12) 公開実用新案公報 (U)

(11)実用新案出願公開番号

実開平5-44896

(43)公開日 平成5年(1993)6月15日

(51)Int.Cl.⁵
B 65 D 91/00
A 47 G 29/12
E 05 G 1/00

識別記号 庁内整理番号
6916-3E
Z 7137-3K
A 8404-2E

F I

技術表示箇所

審査請求 未請求 請求項の数1(全3頁)

(21)出願番号

実願平3-101735

(22)出願日

平成3年(1991)11月14日

(71)出願人 391043985

株式会社ケー・オー・ディー
東京都足立区扇2-4-26 第三グリーン
ビル1階

(72)考案者 鵜飼 貞史

東京都足立区扇2-4-26 第三グリーン
ビル1階株式会社ケー・オー・ディー内

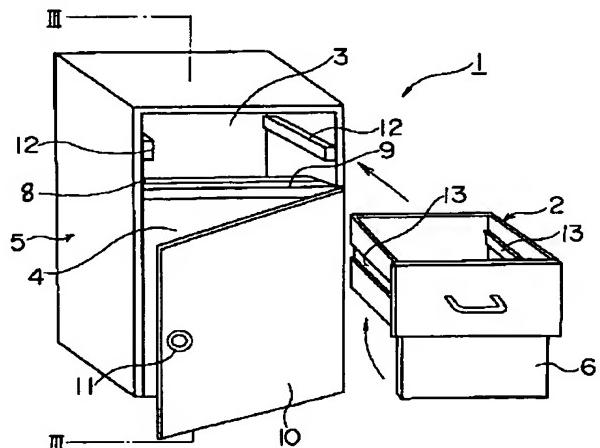
(74)代理人 弁理士 細井 勇

(54)【考案の名称】 収納ボックス

(57)【要約】

【目的】 宅配便等を留守でも安全確実に受け取ることができ、且つ構造が簡単で安価な収納ボックスを提供する。

【構成】 引き出し2と該引き出し2を収納する収納部3を有し該収納部3の下に貯留室4が設けられたボックス本体5とからなり、上記引き出し2の底板5が引き出しを閉じた際には下側に開き、又、引き出しを開いた際には底板が収納部の前面側に設けたガイドに支持されて閉じた状態となるように形成され、上記ボックス本体5には引き出しの下側に設けた貯留室4から荷物を取り出すための取り出し口が設けられ、該取り出し口は特定の人のみが開閉可能に設け、収納ボックス1を形成した。



1

2

【実用新案登録請求の範囲】

【請求項 1】引き出しと該引き出しを収納する収納部を有し該収納部の下に貯留室が設けられたボックス本体とからなる収納ボックスであり、上記引き出しの底板が引き出し前面側のみが支持され下側に回動自在に形成され、ボックス本体の収納部の下前面側に引き出しの底板を支持するための支持板が設けられ、上記貯留室は特定の人のみが開閉可能に形成され、引き出しを収納部に押しこれると底板が下側に開放し貯留室と引き出し内部が連通し、引き出しを開いた場合には底板が底板支持ガイドによって支持され底板により引き出し内部と貯留室が遮断された状態となることを特徴とする収納ボックス。

【図面の簡単な説明】

【図 1】本考案収納ボックスの 1 例の外観を示す斜視図である。

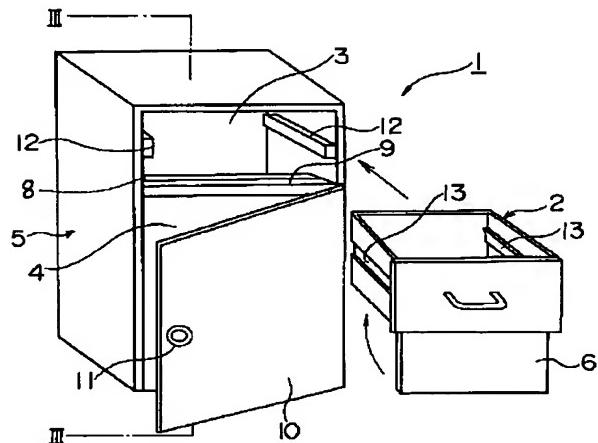
【図 2】引き出しの 1 例を示し、上部からみた場合の平面図である。

【図 3】本考案収納ボックスの作用を説明するための縦断面図であり、(a) は引き出しを閉めた状態を示し、(b) は引き出しを少し開けた状態を示し、(c) は引き出しを大きく開いた状態を示す。

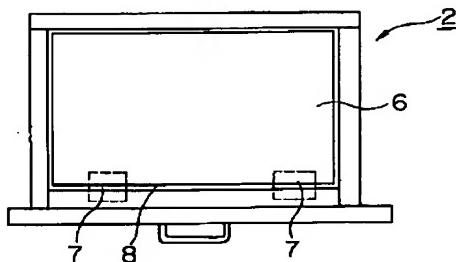
【符号の説明】

- | | |
|---|--------|
| 1 | 収納ボックス |
| 2 | 引き出し |
| 3 | 収納部 |
| 4 | 貯留室 |
| 5 | ボックス本体 |
| 6 | 底板 |
| 8 | 前面側 |
| 9 | 支持板 |

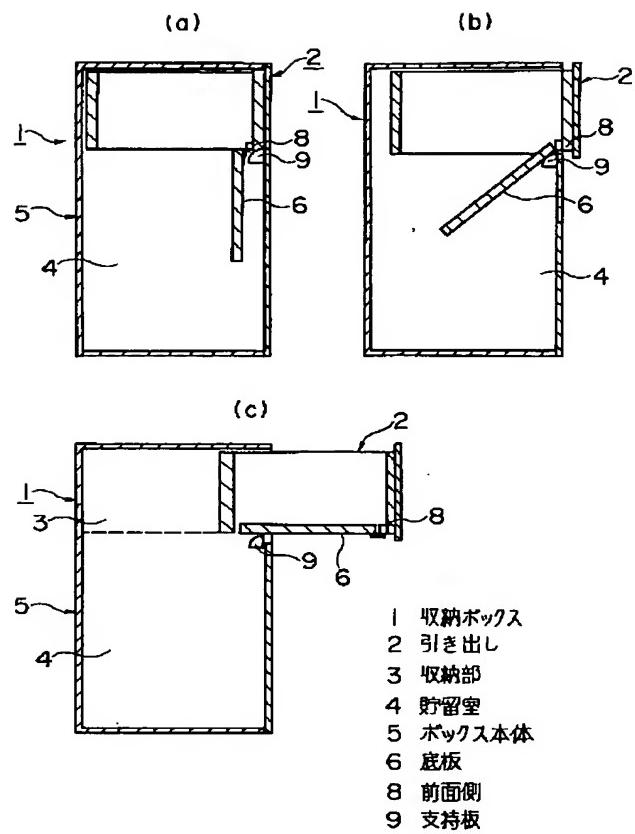
【図 1】



【図 2】



【図3】



【考案の詳細な説明】**【0001】****【産業上の利用分野】**

本考案は、宅配便の荷物等を留守中に受け取るためのボックス、夜間金庫、集配ボックス等のように、荷物を入れることが自由にできるが荷物の取り出しは特定の人しかできない収納ボックスに関する。

【0002】**【従来の技術】**

従来、宅配便等の荷物等が配達された場合に、自宅を留守にしていた場合、ポスト等にはこれらの荷物が入らないため、業者が持ち帰り再配達することが行われていた。

【0003】**【考案が解決しようとする課題】**

このように、配達物を持ち帰ることは再び配達する手間がかかるため、配達物を収納するための受け箱が必要であった。このような配達されたものを収納するためのボックスの条件として、配達する人は荷物を自由に入れることはできるが、荷物を取り出すのはボックスを所有する人のように特定の人以外には取り出すことができない機能を有するものであることが要求される。更に、そのような機能を有し、構造が簡単で製造が安価にできるものでなければならない。

しかしながら、従来上記の如き要求を十分満足する収納ボックスはなかった。

本考案は上記問題を解消するためになされたもので、宅配便の荷物等のように荷物を入れるのは自由に行うことができるが、取り出しは特定の人しかできず、且つ構造が簡単で安価な収納ボックスを提供することを目的とする。

【0004】**【課題を解決するための手段】**

本考案収納ボックスは、引き出しと該引き出しを収納する収納部を有し該収納部の下に貯留室が設けられたボックス本体とからなる収納ボックスであり、上記引き出しの底板が引き出し前面側のみが支持され下側に回動自在に形成され、ボックス本体の収納部の下前面側に引き出しの底板を支持するための支持板が設け

られ、上記貯留室は特定のみが開閉可能に形成され、引き出しを収納部に押し入れると底板が下側に開放し貯留室と引き出し内部が連通し、引き出しを開いた場合には底板が底板支持ガイドによって支持され底板により引き出し内部と貯留室が遮断された状態となることを特徴とするものである。

【0005】

【作用】

本考案収納ボックスの作用について説明する。図3は本考案収納ボックスの作用を説明するための縦断面図である。

図3(a)に示すように収納ボックス1の引き出し2を閉じた状態では底板6は前面側8が支持板9に支持されず貯留室4側に垂れ下がって引き出し2内部と貯留室4は連通した状態となっている。同図(b)に示すように引き出し2を少し引き出すと、底板6の前面側8が支持板9に当たり、底板6が前面側8を軸として回動し上部に跳ね上がる。更に引き出し2を大きく開くと、同図(c)に示すように底板6は支持板9に支持され、完全に引き出しの底が閉じた状態となる。

【0006】

次に荷物を収納するために、引き出した引き出し2内に荷物を置くと底板6は支持板9により支持されているため、荷物は下に落下せずに引き出し2の内部に保持された状態になる。そして引き出し2を押し込み引き出し2を完全に閉じると、同図(a)に示すように底板6が前面側8を軸に回動して貯留室4内部に垂れ下がった状態となるために、底板6の上に載っていた荷物は貯留室4内部に落下する。

再び、引き出しを開くと同図(c)に示すように上記で述べた如く引き出し2の底板6が跳ね上がり引き出し内部と貯留室は4は遮断された状態となり、貯留室4内部の荷物は外部から(引き出しをひらいても)は取り出せないので、安全に荷物のみを収納することができる。

【0007】

【実施例】

本考案の実施例を図面に基づき詳細に説明する。図1は本考案収納ボックスの

1例の外観を示す斜視図である。

図1に示すように、本考案収納ボックス1は、引き出し2と該引き出し2を収納する収納部3を有し該収納部3の下に貯留室4が設けられたボックス本体5とからなるものである。

【0008】

図2は引き出し2を上部から見た場合の平面図である。上記引き出し2は底板6が蝶番7により該底板6の前面側8のみが支持され前面側以外の周辺はフリーになっており、底板6は収納ボックスの下側に回動可能に形成されている。この底板6を回動可能に形成するには、図示したように蝶番で形成してもよいが回動可能に形成されれば他の手段を用いててもよい。

又、引き出し2は例えばストッパー等を設けて、収納部3から引き出した際にボックス本体5から外れないように形成し、底板6は下側のみに回動し上側には回動しないように形成しておく。

底板6は荷物を載せた場合に折れ曲がったりしないように形成されればよく、例えば単なる板状、又メッシュ状等任意に形成することができる。

【0009】

ボックス本体5の収納部3には引き出し2を収納し、該引き出し2が前後にスライドして引き出されるようにガイドレール12が収納部内側面両側に、引き出し2の両側面に設けたガイド溝13と嵌合するように設けられている。又、収納部3の前面側8には引き出し2の底板6を支持するための支持板9が設けられている。

上記支持板9は引き出し2の底板6を支持し、底板6がスムーズに回動して引き出し2を開けた際に底板6が上部に回動して平面となり、又、引き出し2を収納部3に押し入れた際に底板6が下側に回動する位置に形成されている。この場合、支持板9は図3に示したように収納ボックス1の内部側に向けて薄くなるよう傾斜をつけておくと、上記の動きがスムーズになり好ましい。

支持板9は引き出し2に荷物を載せた場合に支持できる程度の剛性を有するものであればよくその材質等は特に限定されない。

【0010】

本考案収納ボックス1において、ボックス本体5の上記収納部3の下に設けられる貯留室4は、荷物を受け入れる空間を有し且つ収納した荷物を取り出せるよう取り出し口が設けられている。この取り出し口は特定の人以外は取り出せないように形成されればよく、例えば図示したようにボックス本体の貯留室4の前面に扉10を鍵11を付けて形成することができる。

又、上記扉10の一部を透明に設け外部から貯留室4内部に荷物が入っていることを確認できるように形成することもできる。本考案では特にこの取り出し口はボックス本体5の側面、裏面等どこに設けてもよく、又、形状等も特に限定されず任意に形成することができる。

【0011】

本考案収納ボックス1の材質は、外部から容易に壊すことのできない堅牢なものであれば特に限定されず、例えばスチール、木材、プラスチック等で形成することができる。又本考案収納ボックスの大きさは用途等に応じ適宜決めればよい。一例として、例えば宅配便等を受け取る宅配ボックスとしての用途では、引き出しを横幅60cm×奥行き30cm×深さ30cm程度の宅配便等の標準的なサイズに形成するのが好ましい。

【0012】

又、本考案収納ボックス1には特に図示しないが、例えば宅配便を受領した受領印を印字するためのプリンターを取りつけることもできる。プリンターには日付、時間、確認の印等が組み込まれ、配達人が伝票を差し込むと印字するように形成しておけば、受領印が印字されるため、配達したことを確認することができる。

【0013】

本考案収納ボックスを使用するにあたっては、該ボックスを容易に移動できないように固定する。固定方法は例えばボックスの背面のを固定物に固定する場合、ボックスの背面に貫通孔を設けて該貫通孔にボックス内部からボルトを通して外部の被固定物に固定したりすることができる。固定された収納ボックスに収納物を入れる場合には、上部に設けた引き出しを開いて上から引き出し内部に収納物を入れ引き出しを閉じる。引き出しを閉じると底板が下部に開いて収納物が收

納部に落下する。収納ボックスの備わっている家の家族が帰宅してから収納ボックスを合鍵を用いて開いて取り出す。

【0014】

又、本考案収納ボックスを収納する場合、予め住宅を建設する場合に住宅内に組み込んで引き出しを外部から引き出せるように形成し、貯留部の取り出し口を室内側に設けてもよい。

【0015】

本考案収納ボックスは、宅配便の収納、クリーニング、郵便受け、夜間金庫、レンタルレピデオの返却ボックス等の種々の用途に利用することができる。

【0016】

【考案の効果】

以上説明したように本考案収納ボックスは上記構成を採用したことにより、引き出しはだれでも自由に開け閉めできるので、配達にきた人等が自由に荷物を入れることはできるが、引き出しを閉めると荷物はボックスの下へ落下して収納部に入り、引き出しを再び開いた場合には底が閉じられているため、引き出しから収納部の荷物を取り出そうとしても荷物は取り出せず、収納部の鍵を開けることのできる人だけが荷物を収納ボックスから取り出すことができる。従って、不在の間であっても、盗難等を防止して安全に荷物の配達を行うことができる。

【0017】

又、貯留室内部が荷物で一杯になると引き出しを閉めた状態で、引き出しの底板が貯留室内に下がった状態となり、この底板が荷物に引っ掛かり引き出しが引き出せなくなるために、収納部に荷物が一杯になつても引き出しを開けて荷物を入れ、荷物が貯留室に落下しないで引き出しに残ってしまう事故を防ぐことができる。

【0018】

本考案収納ボックスは構造が非常に簡単であり、電気的なセンサーや複雑なメカニズムを必要としないために、材料コスト及び製造コスト等が低く、収納ボックスを安価に製造することができる。

又、荷物を収納する場合、引き出しの上から荷物を入れるために荷物の入れ口

が広く荷物が入れやすく、又、特に重量の軽いものであっても容易に落下して確
実に収納することができる。